

令和5年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 弓削小学校プラン

《学校の教育目標》 豊かな心と自ら学ぶ強い意志をもち、たくましく生きる子どもの育成

《本年度 学校の重点目標》 基礎・基本を身につけ、考えを表現できる子どもの育成

基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、他の学習や生活場面に生かすことができる。

【つくる力】

相手や状況に合わせて適切に表現し、お互いの考えを取り入れながら協働できる。

【つなぐ力】

めあてを達成する方法を決め、実行し、振り返りながら、あきらめずに挑戦しようとする。

【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載
- ②ねらいや活動を絞り、情報を絵、写真、図、動作等で視覚的に示す。(国語・算数 毎時間)
- ③国語・算数を中心に、Chromebookやドリルを活用して、1日に最低1回は根拠や理由を明確にした考えを書く場と習熟を図る学習活動の設定。
【成果指標】学期ごとのまとめテストによる理解度評価(1学期40%、2学期45%、3学期50%以下が0人)
授業チェックリスト(「基礎基本が身についたか確かめる場の工夫」4段階評定3.0以上)
- ④教員のスキルアップ研修の実施(学期1回)。ペアで自分の思いや考えを外国語で伝え合う活動を行う。(外国語 毎時間)

笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
- ②メンタリングを中心としたOJTによる職員研修でキャリアステージに応じた研修内容と研修時間の弾力的な運用を行い、授業研究の日常化を図る。
【成果指標】「先生は分かるまで教えてくれる」と答える児童の割合が90%以上(毎日)

協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載

楽しい学校

- ①「弓削小アクションプラン」の初期対応の徹底(毎日)。不登校対策委員会で、ケースに応じた対応策を検討し、全職員で共有(月1回、臨時議題があれば特設で行う)。学校生活の状況や悩みを把握する児童・教員の2者面談を行う。(学期1回) 【成果指標】不登校数0を継続する。いじめの認知件数が10%増加
- ②児童会、委員会が主体となって「早寝早起き朝ごはん」「休みの時間の安全な過ごし方・廊下の通り方」「けがの人数とけがの種類、発生場所、原因」を伝えるなどけが等を減らす取組を行う。(月1回)
- ③ゆげっこ3つのたからばこ「ともだちのよさを見つけてなかよくする」の活動の振り返りをクラス・個人(毎日)ゆげっこタイムでの基礎・基本の学びと学習習慣の定着を図る。(週3回) 授業アンケートで達成感を味わわせる場の設定を行う。(学期1回)

【体力向上】

- ①基礎体力を高めるために体育の時間のはじめに入念なストレッチと縄跳び、固定遊具を使ったサーキットを毎時間する。
- ②休み時間におけるの外遊びの奨励と昼休みの体育館の開放(「1校1取組」運動)
・体力アップシート活用率:目標80%
・スポコン広場登録学級数:目標2学級

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①ゆげっこ3つのたからばこ「きちんと止まってきもちのよいあいさつ」を、全校朝会(月1回)で振り返りを行う。
- ②ゆげっこ3つのたからばこ「だまってピカピカそうじ」を、クラス・個人(毎日)で振り返りを行う。
- ③家庭学習のしおりと家庭学習取組表の活用(全学年学期1回の提出と成果の掲示:計画・内容・時間・振り返り)。

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】 「人権・同和教育の視点に立った指導のポイント」を活用して、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を行う。 [要綱 P94~参照]
- 【特別支援教育】 「個別の教育支援計画と指導計画」を活用し、隣接学年や特支コーディネーターによる協働的な支援を行う。 [要綱 P152~参照]
- 【キャリア教育】 キャリアパスポートを活用して自己の伸びを認め合う。 [要綱 P144~参照]